

特集

クラブの運営業務を分担しよう

思い切った人事&役割改革でクラブが急成長

～どんぐりクラブ屋台村(広島県山県郡北広島町)～

活動は順調であるにも関わらず、設立から10年を迎える「どんぐりクラブ屋台村」では、運営側の業務が増えたことで新規事業に着手できない。というジレンマを抱えていました。その状況を変化させたのが大胆な運営改革による業務分担&効率化。近隣クラブも注目するその取り組みをクローズアップします。

🔑 キーポイント

- ★ 大胆な人事改革で業務の効率がアップ
- ★ スタッフの負担軽減には業務内容を洗い出す
- ★ 3つの「専門部」を新設し、特に負担が大きい業務に対応

1 クラブ概要

どんぐりクラブ屋台村が位置する北広島町豊平地域のスポーツ環境は、地域に根ざしたスポーツ活動が少なく、主に学校区が中心となっていたため、卒業後はスポーツに接する機会が減少してしまう状況にありました。そのほかにも活動する人数が足りない、専門の指導者がいないなどの理由から自分にあった種目を選択できないなどの問題も抱えていました。

学校部活動の在り方についても検討していくなかで「だれもが、いつでも、どこでも、生涯を通じて健康・スポーツ活動に親しむことができる環境」を地域で作り出すきっかけの一つが総合型クラブの設立でした。その後、平成12年度から文部科学省のモデル事業として行政主導で設立準備がスタートし、平成15年3月に「どんぐりクラブ屋台村」が設立されました。

高齢過疎の地域のため、クラブではスポーツに限らず幅広い活動を展開しています。「屋台村」の名のとおりイベントへのバザー出店から、「よもぎ蒸し」、「腸セラピー」などの女性向けのプログラムまで、仲間と健康的に触れ合えるコミュニティ作りを目指した取り組みを行っています。

2 大胆な人事改革で業務の効率がアップ

クラブの事業が順調に増える一方で、運営側は業務が煩雑になりスタッフや理事の負担が増加していました。また、クラブ専任ではない理事が多く理事会を開催しても大半が出席できないことから、一部の理事の負担が大きくなり、新規事業を行いたくても実施できないなどの問題もありました。

このような状況を打破するため、昨年度、業務内容の見直しを行いました。理事を21名から7名(内2名は事務局スタッフ)にした上で理事の交代も実施、その結果、理事7名の平均年齢は35才となり、クラブがさらなる進化を遂げるための体制を構築しました。月1回の理事会のスケジュールリングもスムーズに行えるなど、業務の効率化にもつながっています。新規事業に関する意見交換も活発になり、実行スピードも向上したことで、今年度はパソコン教室やバブルサッカー大会を始め、拾ったどんぐりの重さに応じて屋台村通貨に交換するといった独自の新規イベント開催にもつながっています。



上半身にやわらかいボールをかぶって行うバブルサッカー

3 業務内容を洗い出し、合理化につなげる

事務局スタッフの負担を軽減するため、まずは、クラブ内業務の内容を明確にしました。その後、特に負担が大きい業務について3つの「専門部」を新設。新たに作られた各専門部の役割が下記のとおりです。

【事業部】イベント・大会に関する業務全般

【広報部】クラブ便りの毎月配布、年間カレンダー作成

【バザー部】地域イベントへの出店企画立案、当日の販売業務

それぞれ1名の部長と、数名のボランティアスタッフで構成されています。ボランティアスタッフは、クラブをよく手伝ってくれている会員や地域住民の方への声掛けによりお願いしていますが、業務が明確なことで、みなさん安心して引き受けてくださるという利点もあります。

4 今後の展望

クラブのオリジナルグッズの作成や、今までクラブに縁がなかった人にも興味を持っていただけるようなイベントや教室を新たに開催していきたいと思っています。地域の核となるようなコミュニティクラブとなるよう、さらに充実した活動を目指します。

(広島県クラブアドバイザー 茂川真二)



屋台村の事務所は、季節に合わせた装飾をスタッフ自身が楽しみ、誰もが気軽に立ち寄りやすい雰囲気になっている

クラブプロフィール

設立：平成15年3月9日

地域：広島県山県郡北広島町豊平地域

運営：会員数353名(平成26年7月時点)

※対象地域の豊平中学生は全員が会員登録

予算規模：1千6百万円(平成26年度予算)

住所：〒731-1712 広島県山県郡北広島町都志見2609

TEL/FAX：0826-84-1234

E-mail：yatai@pretty.ne.jp HP：http://yataimura.net/